

クリニカルパスウェイ カテーテルアブレーション治療を受ける患者さんへ

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

2023年3月23日作成
東京慈恵医科大学附属第三病院

	入院前～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目～退院日
日時	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	- 不安なく治療が受けられる - 治療を受ける準備が整う	確実、安全に治療が受けられる	治療による合併症(出血、気胸、感染、心タンポナーデなど)を起こさない	- 心臓の負担を考え自己管理ができる - 今後の生活の注意が理解できる
食事	□塩分6g制限食 ・入院前より塩分制限をお願いします ・入院後より塩分6g制限食となります ・水分制限はありません	・朝食止め／昼食止め ・入室まで水分制限はありません 	・昼／夕から食事が食べられます ・ベッド上安静中の食事は臥位のままになります ・造影剤を使用しているため500ml以上の水分をできるだけ多く飲んでください	
活動	・トイレに行けます ・院内自由です (病棟外へ出る時は看護師に声をかけてください)	・尿の管を入れることがあります (安静時間で相談します)	・安静時間中はベッド上です ・安静時間が終われば、トイレに行けます ・安静時間が終われば、病棟内自由です (活動制限がある場合は、別途説明します)	・トイレに行けます ・院内自由です(心電図モニターを付けているため病棟外へ出る時は看護師に声をかけてください)
検査処置	□血液検査、レントゲン、心電図検査をします ・心電図モニターを退院時までつけます 	・カテーテルアブレーション治療は、局所麻酔で行います (検査中に気分が悪くなった場合は、すぐに医師や看護師にお知らせください) ・治療前に点滴を始めます ・治療部位：右鼠径部(足の付け根)、右頸部(首の付け根) ・治療順番：午前／午後 番目 ※救急患者さんの状況などで、開始時間が遅れることがあります	・治療後は、血圧、脈拍、体温を定期的に看護師が測定します ・帰室時に心電図を検査します ・6～8時間ベッド上安静です(膝は曲げられません) (始めの4～6時間は上向きのみで、その後は自分で寝返りをして体の向きが変えられます) (ベッド上安静中は、食事の時も寝たまゝの状態となります)	・血液検査、心電図、レントゲン検査をして、治療後の状態を確認します ・心電図モニターは退院時に外します ・治療部位がきちんと止血できたか、医師が確認します
薬	□服用されているお薬を持参して下さい ・持参した薬や薬手帳は看護師に渡してください ・薬剤師より内服薬の説明があります ・場合により、一部の薬を中止することがあります - 中止薬：なし／あり - 中止薬名： / / - 中止期間： / / ～ / /		・中止する薬や新たに追加する薬があれば、随時説明します	
清潔	□入浴できます ・足の付け根の毛を剃ります	・検査当日は入浴やシャワー浴はお控え下さい		・シャワーに入れます ・入浴は治療2日後からです 
指導説明	□カテーテルアブレーション治療の説明があります (ご家族も同席して下さい) (検査・治療説明・同意書を渡します) (外来で説明済／入院時説明) ・同意書に記名して、看護師に渡してください ・動悸がしたり気分が悪くなった時は、看護師に伝えてください	・コンタクトレンズ、メガネ、指輪、時計などを外して、術着に着替えます ・点滴をして、胸に心電図コードを貼り、カテーテル室まで歩いて行きます ・治療終了後に、ご本人、ご家族へ結果を説明しますので、ご家族は治療中病棟で待機してください (病棟から離れる際は看護師に声をかけてください)	・カテーテルアブレーションの結果について、医師より説明があります ・ベッド上での安静で腰が痛くなったり、気分が悪くなったりしたら、我慢せずに看護師にお知らせください ・造影剤の副作用で、頭痛やめまい、吐き気、かゆみなどが出る場合がありますので、その際は看護師に伝えてください ・治療部位を曲げたり強く力を入れたりすると出血することがあるので注意してください	・退院後の生活や外来予定について、看護師から説明があります ・カテーテルを刺した部位に腫れや痛みがないか観察してください ・胸痛や動悸など、症状がある時には病院へ連絡してください ・散歩など日常生活の範囲で運動は可能です ・自分で脈が測れるように練習しましょう ・薬はきちんと飲み続けましょう 

※この用紙は入院してからでも使用しますので、入院時に持参してください

《連絡先》 東京慈恵会医科大学附属第三病院 TEL:03-3480-1151
平日：内科外来（内線 3125） 夜間・休日：救急室（内線 3399）